



【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

長岡赤十字病院

長岡市千秋2丁目297-1

電話 0258-28-3600

ホームページアドレス

<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

## 長岡赤十字病院での臓器提供推進活動

前 新潟県臓器移植コーディネーター  
(公財)新潟県臓器移植推進財団 理事  
**秋山 政人**

### はじめに

こんにちは。この度は臓器提供について長岡赤十字病院ではどのような取組がなされ、そして臓器提供のご希望をお持ちの方が現れた場合に病院としてどのようなお手伝いをするかなど、移植医療の普及啓発をしてきた立場で紙面の許す限りお伝えしたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 長岡赤十字病院での取り組み

2000年4月から院内に臓器提供委員会を立上げ、また医師や看護師などが新潟県知事から委嘱を受けた院内コーディネーターが中心となって活動しています。主に臓器提供意思の確認と、そのうえで臓器提供の希望が示された場合にそれを叶えるためにどのような準備が必要かなど日々検討しておられます。

臓器提供とは主に救急の現場での出来事です。また提供できる臓器は心臓、肺、肝臓、すい臓、腎臓、小腸、眼球の7つの臓器です。もしすべての臓器が提供されたとした場合、お一人から最大11人の方々を助けることができる医療でもあります。では臓器提供の流れを簡単にをご紹介します。

病気や怪我で命に係わる重傷の患者さん、懸命の治療にも係わらず残念ながら危篤と診断された場合に、ご本人が希望している、又は家族が考える最期をどのように迎えるかをケアの一環として医師・看護師などがご家族とコミュニケーションをとりながら臓器提供意思について確認します。そして臓器提供を望んだ場合には主治医の依頼に基づき日本臓器移植ネットワークや新潟県臓器移植推進財団のコーディネーターが脳死判定や臓器の摘出手術の詳細を説明し、さらに提供された臓器が全国の臓器不全患者さんに移植されることを説明します。それに納得されればご家族が臓器提供の承諾書にサインをして臓器提供が進行していきます。

す。これらは危篤と診断されてからおおよそ1週間程度の時間経過でなされるものです。

### 臓器提供意思表示の大切さ

医療機関が臓器提供意思を確認するのは臓器移植法で必須とされています。

危篤を宣言されたご家族は気が動転している時に問われる話でもあります。その際、患者自身が意思表示していなければ「いったいこの人はどうしたいのであろう」などと、病状の心配と、臓器提供意思がどうかであるかの二つを悩むことにもなります。

そうしたことを防ぐためにも普段から臓器提供についてご家族と話し合っておくことが大切です。また意思表示とは「提供したい」「したくない」のいずれかを示すものです。ご自身が決めたことをご家族に伝えるとともに、運転免許証や健康保険証、そしてマイナンバーカードに記載欄がありますので是非ともご意思を示していただきたいと思います。

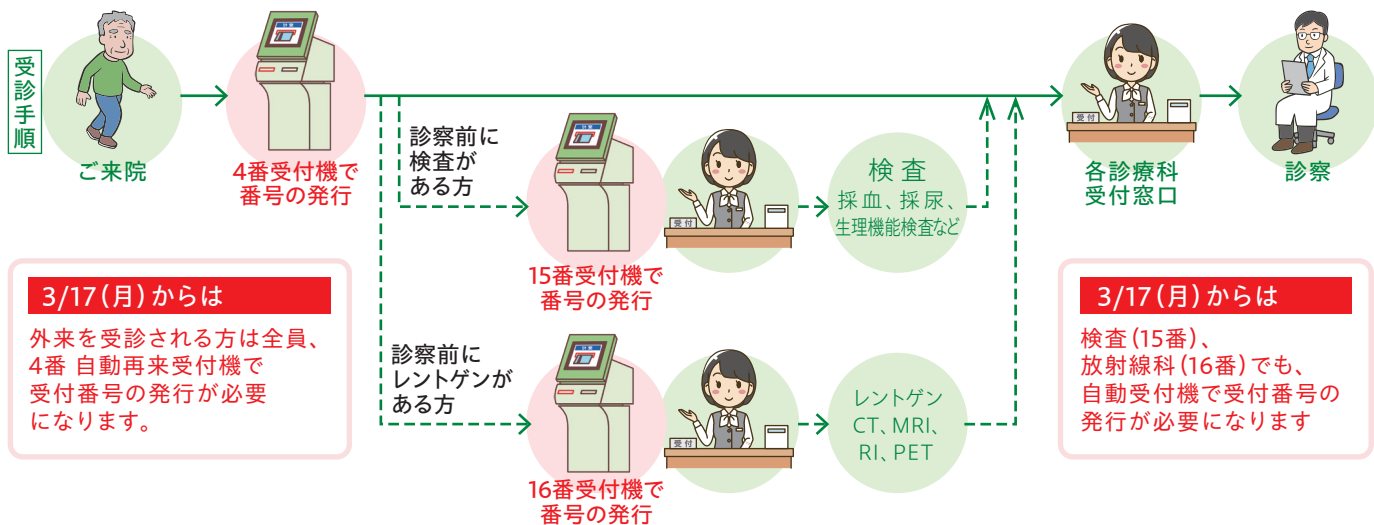
### おわりに

長岡赤十字病院は、患者に対する可能な限りの救命治療を提供すると並行して、刻々と変わる病状を受け止めなければならないご家族に対するケア、救命できなかった場合の看取りの医療から臓器提供へとつながる連続的な流れを構築してゆくような臓器提供推進活動を院内で展開されてきました。このことは臓器提供が無くても救急施設には必要なことではないでしょうか。

2025年  
3/17(月)から

# 外来患者さんの受付方法が変わります

3月17日(月)からは、外来を受診される方は予約の有無にかかわらず全員、4番 自動再来受付機での受付番号発行が必要となります(透析、救急外来、診察券をお持ちでないはじめての方は除く)。検査(採血、採尿、生理検査)やレントゲン(CT、MRI、RI、PET含む)を受ける際も、それぞれの受付機で番号発行が必要となります。  
3月17日(月)以降はご案内に従って受診ください。



## 感染症アウトブレイク(集団感染)に備えたシミュレーション訓練を実施しました

「新型コロナウイルス(COVID-19)」は、私たちの生活に大きな影響を与えました。

日本でも、外出制限やお店の休業などで、多くの方が日常生活の変化や不安を経験されたと思います。この経験を通して、感染症の怖さや日常の備えの大切さを改めて感じた方も多いのではないのでしょうか。

いつまた起こるかかわからない感染症の広がり(アウトブレイク)に備えるため、当院では2024年11月9日(土)、地域の医療機関や長岡市医師会、長岡保健所とともにシミュレーション訓練を行いました。

訓練では、感染症の患者さんが発生した場合を想定し、電話を使って必要な情報を他の医療機関や行政と共有したり、保健所から届いた情報を院内スタッフに素早く伝えるなどのシミュレーションを行い、課題を見つけ、対策方法を考えました。

この訓練を通して、病院、保健所、医師会の連携を強めることができました。地域の皆さまの安全を守るため、これからも訓練を重ねて、いざという時にしっかり対応できるよう準備を進めてまいります。

(感染対策チーム)



当日の様子：電話を使い、患者情報を共有する参加者

### 患者会からのお知らせ



#### ●がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」

【日時】令和7年2月7日(金)、3月7日(金)、  
4月4日(金) いずれの日も 14:00~15:30

【場所】がん相談支援センター  
(地域連携・患者サポートセンター内)

【事前申込】不要

— 詳しくは当院ホームページをご覧ください —

### 入院中のお子さんたちに クリスマスプレゼントが届きました！



『あなたもサンタクロースになりませんか?』の呼びかけに賛同くださったみなさまが、クリスマスを病院で過ごすお子さん達を想って選び、購入してくださった絵本を、サンタ・プロジェクト・ながおか様が届けてくださいました。お預りした絵本は、当院のサンタがお子さん達にお届けしました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

